

森健岡安商事管理部長 横
井喬ユニティックス管理部次
長の四氏。それに、顧問の
生田一・元タイセイ・コモ
ディティ（現在のタイコム
証券）常務取締役が加わる。
ちなみに、1988年設
立当初の会員数は四十二社
だった。役員は、代表幹事
生田一、副代表幹事濱崎和
幸（岡藤商事）、幹事は中嶋

する規制に明け暮れ、商品先物業にとつては“極寒期”だった。農林水産省の委託者売買状況チェックシステムの導入が決まったのが1988年12月。当時の通産省も翌年1月に、売買状況に関するミニマムモニタリングの採用を決定した。

——
活動は今後も続くにちがない。
——

会員数は五十社

関西地区の管理者部会だ
というのに、なぜか部会名
に地区を示す冠がない。こ
れは設立当時、まだ他地区
に同様の部会をつくるうと
いう話がなかつたためであ
る。公正な受託業務を遂行
するための勉強会で、全国
組織への衣替えもありうる
と考えたからだ。いまも名
称を変えないのは、設立当
初の広い視野で部会活動を
続けていることの表れだ。

A black and white portrait photograph of Shigeo Matsunaga, a middle-aged man with glasses, wearing a suit and tie. Below the photo is his name in Japanese characters.

靖夫（フジチュー）、橋本明（西田三郎商店、現在のグローバリし）、梅見悟のあわせて五氏。会員数はピーク時で五十四社を数えた。

以前から勉強会をつくろうとする動きがあつた。一方、主務省側は行政を進めるにあたり、現場の管理責任者の声を直接聞きたいと思つていた。そうしたことが相

泊一日の勉強会も

関西地区の商品取引員の管理責任者などで構成する「商品取引員管理者部会」が設立されたのは1988年6月。また、業界団体が全国商品取引員協会連合会のころだ。他地区の管理者部会設立に先がけて誕生した。

継続こそ力 部會活動⑧

商品取引員管理者部会

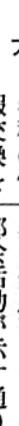
精力的な活動続ける
他地区に先がけ発足

設立時の趣旨を引き継ぎ、
その時々のテーマを真剣に
議論している。部会活動を
今後とも商品取引員の経営
に生かしていきたい。

広く理解を得て

生田一顧問の話

五里紘副代表幹事の話

フジュリ会員間の各種の情報交換を容易に発足できた。その後の部会活動が示す通り、公正な受託業務遂行に役立ったと思つてゐる。

調査部会の小豆調査

ルック@マーケットで紹介

東京商品取引員調査部会 每年、北海道で小豆の成育状況を調査しているが、今
は毎年、北海道十勝周辺で 小豆の成育状況を調査しているが、今
いるが、その調査状況が8 状況を調査しているが、今
月27日、BSジャパンの 多く、成育状況はよくない』
「ルック@マーケット」(毎 年は天候不順で低温の日が
週月～金、午後4時～5時 単に道路際をさつと見るだ
放送)で紹介された。(写真 けでなく、畑の中まで入つ
と述べた。

この日は内山敏夫キヤスター、矢玉みゆきキヤスターと現地、北海道にいるエース交易総合企画部情報交差点編集室の野崎由香理さんとの間がホットラインで結ばれ、現地の生々しい状況がデジタル写真を交えて報道され、野崎さんが熱弁を振るつた。この中で野崎さんは「東京商品取引員調査部会では

て定規を使ってサヤの大きさまで測るという綿密なもので、毎年、行っている。このため、調査の常連である野崎さんは現地に長靴を預けており、その長靴まで紹介された。

ルック@マーケットはその日の株式市場での注目銘柄解説などとともに、内外のホットな話題を内山キヤスターが巧みに料理していく。商品市況、特に金、原



油、穀物など
をよく取り上
げるが、小豆
がこの番組で
紹介されたの
は初めて。